



本荘・大江、附属病院地区においても 06年度給与見直しの説明がありました



相変わらずだな・・・。

21日(火)附属病院において「06年度給与見直し」について、使用者側から説明が行われました。オイラは事情があり、参加できませんでしたが、話を聞いてみると相も変わらずですな。

そうそう、まず報告しておきます。前号で「現給保障でボーナスは出るのか?」ということなんだけど、参加してくれた方に聞いてもらったところ「ボーナスは現給保障額で支払う」ということだそうです。ただ、人事課長はその件については知らなかったようです。人事課長が知らないのも問題だが、とりあえずは退職金だけに掛かってくるようですな。退職を間近にしている方は、なんとかして最低でも「現給保障で退職金を獲得する」という目標を組合と勝ち取りましょうよ。今が戦い時ですぞ!!

大きな給与削減の提案からなのか、附属病院内の会場は昨年の説明会よりも多くの方が説明を聞きに来ていたみたいです。しかし、何にも変わってないのは、使用者側の「説明になってない説明」。前回の黒髪地区説明会にて、「ちゃんとした数字を出してくれ」「こんなんじゃ説明にならない。納得いかない」の声にも、全く対応をしていない使用者。ちゃんと説明する気があるのかねえ・・・。ほんと、あんたらの給与こそが高い賃金なわけよ。賃金分はちゃんと責任果たしたら??



学長よ答えてくれ・・・。

学長はホームページ新年の挨拶で「地域に根ざしつつ、国際的にも存在感を示す大学としてさらなる発展を遂げるべく・・・」と言っていましたよね。学長だけでなく、気持ちはみんな一緒です。みんな社会に誇れる熊本大学を目指し、自分の仕事に誇りを持ってやっている。そして去年は業績も上げているし、熊本大学の評価も高かった。それぞれの教職員がどこかで気持ちをひとつにし、頑張ったからでしょう。



それがどうだろう。今回の給与改訂の話のなかで使用者は「大学職員の給与は民間よりはるかに高い」と言っています。また、比較対象が「使用者10人以上の中小企業を含めたデータ」だそうです。おいおい、僕たちの業績を何処まで低くして比較、評価するの??大学教職員ってそんなものなの??このままだと、いくら業績を上げても給与は人勧に倣い下がっていく。僕たち教職員の「大学を愛する気持ち」「仕事に対する誇り」は衰退していかないだろうか??

学長!!。学長業が忙しいのは分かりますが、学長自ら「この大学をどうしたいから、こう変えていく」ということを組合の交渉や、職場説明会などに出て、みんなにはっきりと示してくださいよ。それが、大学(法人)のトップってもんでしょ。それに「学長に一任されているから」と言ってる理事じゃあ解ってないから話しにならないんだって。